

会 議 録

|              |                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称        | 令和 6 年度 第 2 回 和泉市健康づくり推進市民会議                                                                                                                                                                                        |
| 開催日時         | 令和 7 年 3 月 13 日(木)13 時 30 分～14 時 40 分                                                                                                                                                                               |
| 開催場所         | 和泉市役所 5 階 5A 会議室                                                                                                                                                                                                    |
| 出席者<br>(敬称略) | <p>【委員】</p> <p>永田委員長、上嶋副委員長、北野副委員長、松山委員、沖田委員、西川(信)委員、西川(千)委員、早崎委員、新海委員、細川委員、石橋委員</p> <p>【事務局】</p> <p>吉田副市長</p> <p>子育て健康部 藤原部長</p> <p>健康づくり推進室 高橋室長</p> <p>健康増進担当 藤原課長、川上総括主査、松本総括主査</p>                             |
| 会議の議題        | <p>第 3 次健康都市いずみ 21 計画の取り組みについて</p> <p>第 3 次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について</p> <p>(仮称)第4次健康都市いずみ21・食育推進計画(案)について</p>                                                                                                   |
| 会議の要旨        | <p>1. 開会</p> <p>2. 案件</p> <p>    (1)前回の振り返り</p> <p>    (2)第 3 次健康都市いずみ 21 計画の推進に関する活動報告について</p> <p>    (3)第 3 次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について</p> <p>    (4)第 4 次健康都市いずみ 21 計画について</p> <p>    (5)その他</p> <p>3. 閉会</p> |
| 会議録の作成方法     | <p><input type="checkbox"/>全文記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>要点記録</p>                                                                                                                                  |
| その他の必要事項     | 傍聴人:0人                                                                                                                                                                                                              |

## 審 議 内 容

### 1. 開会

事務局より議事、資料、本日の流れの確認。

### 2. 案件

#### (1) 前回の振り返り

事務局より資料1に基づいて報告。

#### (2) 第3次健康都市いずみ21計画の推進に関する活動報告について

事務局より資料2に基づいて報告。

各団体より資料3に基づいて報告。

#### <医師会>

市民健康まつりで心不全に関する講演会を行った。また、今後課題となる慢性腎臓病（CKD）や透析の予防に向けて、早期発見できるよう、今年度中に取り組みをしたいと考えている。

#### <歯科医師会>

和泉市民健康まつりについて、昨年度より時間は短いですが、検査の来場者は例年よりも多かった。

口腔がん健診に対する要望が多く、医師4名で対応したが対応しきれなかった。また、歯周病検診について、20歳以上5歳刻みで実施したが、20～30代では受診率が低く、課題である。

大阪府後期高齢者医療歯科健診について、“口腔フレイル”も検査対象としている。大阪府で現在約28,000人が受診しておりビッグデータになる。このデータを各市町村でまとめ、各地域でどこに課題があるか、口腔を通じて啓発し、地域ごとの課題分析に役立てられると考える。

口腔機能管理体制確保事業について、4年間、岸和田の葛城病院において週1回入院患者の口腔管理の担当をしている。令和7年4月からは貝塚市民病院へも講師の派遣予定である。

地域連携学術講演会について、和泉市の在宅歯科口腔ケアとして、歯科衛生士、歯科専門職において口腔ケアに関する研修会を開催する。

まだ課題は多いが、一つ一つ克服できるよう取り組みたい。

#### <和泉地域活動栄養士会>

健康まつりではSATシステム、一般栄養相談、乳児栄養相談の3コーナーで栄養相談を行い、SATシステムは約104名の参加があった。親子で参加もあり、年齢層は、0歳～14歳で約40名とその親、60～80代で約30名であった。

地域出前授業では、公立の幼稚園や、食育交流会としては支援センターでも行った。

市民委員との繋がりや、いきいきサロンでも話をした。参加者は60～90代の方で約20名であった。来年度も行う予定である。

初めての試みとしては、自立訓練事業所で、栄養バランス等について講演を行った。

参加者は 12 名程度(18 歳～40, 50 歳代)であった。

他にも、保健所、シルバー人材センター等にレシピ提供を行った。

SNS の発信では、事業や定例会について周知啓発をしている。5、6 年継続しているが、“和泉市”と入れることで、横のつながりができてきたと思う。

#### <食生活改善推進協議会>

2019 年以來に開催できた健康まつりで、4 つのブースを出展した。野菜 350g の実物提示について、本来いろんな野菜を用意し自分たちのカゴに入れて計測してもらうが、コロナの影響で懸念点があり、実物の展示のみとした。また、親子に向けて、三色栄養の説明をゲーム感覚で楽しめる食品カード釣りを実施した。次に、塩分計を用いて塩分測定体験も行った。塩分取り過ぎ防止策として、実際に測ってもらった。味噌汁の場合は通常値を示すが、カップ麺の汁の場合は塩分計の針が振り切れるほどの塩分量がある。実際見て知ってもらうことができ、意義があった。また、フェルトで作った食品の弁当箱を使い、詰め方の展示をした。次回は実際に詰めていただきたい。

今年度、保健センターの調理実習室が使えないため、シティプラザを借りて親子の料理教室を実施したが大変であった。保健センターの調理室があることのありがたみを感じられた。

#### <薬剤師会>

健康まつりの中では改善点が多くあったので、来年度に向けて改善したい。薬物乱用防止教室を開催し、11 校と昨年度実施して要望をもらった 2 校の計 13 校で実施した。教育委員会と連携し、2 年連続で実施することも検討している。

#### <老人クラブ連合会>

新しい取り組みとして、モルックの講習会を実施した。ウォークラリーは日程の関係で実施できなかった。シニア運動会はかなり好評で、ぜひ次回も参加したいという意見が多いため次もお願いしたい。その他、紅白歌合戦も行った。

老人クラブ連合の会員数について、6、7 年前は 13,000 人であった。現時点では 10,500 人であるが、和泉市は大阪府下で一番の会員数となっている。

#### <社会福祉協議会>

地域で活動される方は高齢者が多いため、高齢者を対象の中心として活動している。コロナ以降、活動は活発になってきている。能動的な活動者や地域コミュニティに参加されている方であれば情報が伝わりやすいが、受動的な方や地域コミュニティに参加されていない方への働きかけが課題と感じている。色々な関係団体と協力しながら、参加者の獲得に努めたい。

#### <スポーツ推進委員協議会>

毎年歩こう会を実施しており、約 8km ウォーキングする。参加者は 23 名。今年はコロナ明けで久しぶりにバスツアー(マイクロバスを 3 台チャーター)を開催予定で、明日香村へ行く。参加者 100 名程度を予定している。子どもからシニアまで参加してもらえよう、広報等で周知している。今年の 1 月 11 日に開催したクロスカントリーでは、1,368 人参加している。ここ 2、3 年はいろんなゲストも呼んでいる。スポーツ活動の

担い手育成については、現在 40 名程度で、10 名程度空きがあるため、参加してもらえるよう協力をお願いしたい。

#### <和泉保健所>

新しい取り組みとして、若い世代を対象として、V.O.S メニューを提供いただけるお店について広報を行っている。3 月まで提供中であり、ぜひ食べてほしい。他にも、糖尿病や歯周病に関するチラシも作成している。裏面のチェックリストで、糖尿病、歯周病の傾向はないかが確認できる。必要であれば保健所に声掛けをいただきたい。健康を支え、守るための地域づくりの取り組みとして、健診受診率の向上を目的として保健所管内の地域連携推進事業の連絡会ワークショップを実施し、健診を受けてもらえるようなポスターを作成している。1 つは肺がん検診についてで、喫煙所がある駅や商工会議所、市役所、図書館等に掲示を検討している。それぞれの市町の健診情報にリンク可能な QR コードを掲載したポスターを作成している。それぞれの QR コードごとにアクセス数も集計予定である。もう 1 つは特定健診に関するポスターを作成した。来年度の夏ごろから掲示を進めていく。

#### <町会連合会>

事務局より記載内容を代読。

#### <市民委員>

今年はヘルスアップサポーター結成 20 周年になる。6 月に記念会を実施し、これまでの振り返りを行った。その中で印象的な出来事として、奈良県の葛城市で同じような活動をしている団体と交流会を実施したことが挙げられた。今後も、類似団体と交流会を実施できると勉強の機会にもなり良いと思う。年間行事としては、それぞれの地区でのフェスタ、ウォーキング、クッキングに参加、またそれぞれの地域でいきいきずみ体操を主催している。コダイ君とロマンちゃん体操の DVD を用いて講習会を行った。お年寄りが週に 1 回歩いて参加してもらうことが生きがいにもなっている。

また、この会をきっかけに和泉地域活動栄養士会の委員とつながり、講習会も開催できよかった。

#### <市民委員>

健康維持と死亡率低下に影響する要素として、フレイルがあり、運動と食生活・栄養、社会参加の 3 点について考察した。まず運動に関することについて、和泉市は三国山から海まで勾配がある地形であり、地域住民は車社会に沿った生活が多く、運動がしにくい環境になっているのではないかと考える。2 点目の食生活・栄養について、「とかいなか」が和泉市のキャッチフレーズであり、大小さまざまな店舗が混在していることなどから、いつでもどこでもバランスが取れた食品購入が可能で、栄養バランスの整った食事を作れる恵まれた環境だと考える。3 点目の社会活動への参加について、市民活動を醸成する場の提供など、広報いずみが大きな役割を果たしていると考えている。

最後にミクロ的な視点から、市民委員の活動は限られた条件ではあるが、その中で市民委員としてできる役割は、小石を投げて波紋を広げることだと考えている。

(3)第 3 次健康都市いずみ 21 計画における達成目標の進捗について

(4)第 4 次健康都市いずみ 21 計画について

事務局より資料4に基づいて説明。

次期計画の策定においては 5 回の委員会を開催し、3 月に完成する予定である。健康計画における達成目標の進捗については、8 分野 31 項目中 5 つを達成している。健康寿命の状況は、全国と大きな差はないものの、女性の不健康期間が長く、平均寿命と健康寿命の伸び具合を比較しても、健康寿命の伸びの方が少ないことが特徴である。

計画策定における委員会ではこれらのデータや市民意識調査などから、現状の課題と次期計画に向けた取り組みの方向性を検討し、結果をまとめていただいた。

次期計画では、健康増進計画と食育推進計画を統合し健康寿命の延伸を効果的に進めていきたいと考えている。引き続き「生活習慣病の発症・重症化予防」、「食育の推進」、健康を継続するために重要な要素である「健康づくりと食育を支える地域力の向上」の取り組みの重要性が課題として上がっている。また、新たに「女性特有の健康課題解決」があがっており、女性のホルモンの変化により生じる様々な健康課題や、胎児期の将来的な生活習慣病リスクへの影響などを踏まえて、重要な取り組みであるという評価に至っている。

事務局より資料5に基づいて説明。

健康都市いずみ 21・食育推進計画は、少子高齢化や生活様式の変化、女性の社会進出などを踏まえて、健康増進計画と食育推進計画を一体的に取り組んでいくために策定している。計画期間は令和 7 年度～18 年度までの 12 年間、基本理念に「一人ひとりがめざすウェルビーイングのまちいずみ」を掲げ、市民一人ひとりが健康で生き生きと暮らせる健康都市いずみの実現を目指す。将来的な市民像は、基本目標の「市民一人ひとりが健康づくりと食育の推進に取り組み、ウェルビーイングな生活を送ることができている」という状態を目指す。そのために基本方針は 4 つ、「生活習慣病の発症・重症化予防」「食育の推進」「健康づくりと食育を支える地域力の向上」「女性特有の健康課題解決」を掲げて、関係機関や団体様と連携をしながら、引き続き取り組みたい。

推進体制については、健康都市いずみ 21・食育を合わせた推進会議を設置し、進捗管理を図る。庁内連絡会議も引き続き実施し、各課で連携協力しながら取り組んでいきたい。

市民の皆様への周知は、4 月号広報で計画策定を報告し、8 月号広報に計画概要版を折り込み全戸配布する予定である。

今後ご支援ご協力いただきながら進めて参りたい。

(5)その他

<委員長>

現行計画における任期は終了となる。市民委員には毎回市民の立場でご意見いただき感謝している。第 4 次計画からは健康づくりと食育を一体的に進める新体制となる。令和 7 年度の第 1 回会議は 7 月ごろの予定とされている。引き続き関係機関の協力を得て進めていきたい。

### 3. 閉会

吉田副市長より閉会の挨拶。

第4次の健康都市和泉21食育推進計画について、2月27日、検討委員会委員長から市長へ報告していただいた。健康づくりや食育の目指すところは、ウェルビーイングの最適化として、従来の価値観にとらわれず、健康をより広い概念で定義し直したことである。

新しい価値観に基づく取り組みを進めるためには、新しい体制が必要である。民間においては医療と介護の連携や、健康まつりに新たに参加したいという動きもあり、民民で連携する機運が高まっている。行政も同様に、縦割り行政の壁を越えて、横串連携の行政を作らねばならない。

先日、市長直轄のウェルビーイング推進会議を作り、ウェルビーイング推進ビジョンという骨太の具体策を決定した。この中には、例えば新しい健康食育計画で柱にした女性の健康への支援を進めることや、医療と福祉の連携、母子センターとの連携、ACP健康ポイント、災害時医療、多様な居場所や担い手の強化、そして役所自身の改革を盛り込んでいる。こちらも確認いただき意見をいただければと考えている。

和泉市は、2045年まで高齢者の数が増え続ける。新しい高齢者の急増とともに新しい価値観にも対応していくために、担い手の体制改革は欠かせない。決め手は自助、共助へシフトしながらも、自助、共助、公助の連携、自助、共助を支える公助を行うことでありと市長としても考えている。

引き続き連携をお願いしたい。また、この市民会議で話題になった、市、行政がやるべきことについてのご指導も賜りたい。

以上で第2回の健康づくり推進市民会議を閉会する。